

第 1 回徳島駅周辺まちづくり計画策定検討会 意見概要

項目	意見内容
全体のコンセプトや進め方について	既存のまちをどう残していくかを視野に入れながら取り組んでほしい。
	自然と一体化したまちづくりを念頭に入れてほしい。
	可能なものから取り掛かり、最終形が高架後というアクションプランとして考えてほしい。
	目指すのは歩いて暮らせる、歩いて楽しいまち。
計画範囲について	体育館から内町小学校にかけて、例えば、高齢者施設の機能を加えた複合化等を考えると、計画範囲としてよいのではないか。
	東警察署の移転後跡地や旧文化センター辺りの利用まで考えてほしい。
	事業を行わずとも、中央公園等、意識に入れるならば計画範囲に入れてよいのではないか。
ハード事業について	駅前には新たなシンボルとなるものの整備をしてほしい。
	駅前広場に関して、路線・高速バスの統合的な乗降場の整備やロータリー内車道の渋滞改善等が必要であり、そのために駅前付近の交通状況を把握する。
	ポッポ街入り口周辺が少雨で冠水するなど、インフラ面での問題もあり、高架や道路整備に合わせて対応できないか。
	新町通りの駅から192号線までの空間の活用がかなり鍵になる。
	駅周辺におむつ替え機能やウォシュレット等、利用しやすいトイレが無く、子育てする人にとって不便な状況にある。
	デザイン計画の話を盛り込んでほしい。多言語表示よりも非言語表示で全体をシンプルに
ソフト事業について	安心・安全という文言が無い。高架後死角が増えるので、どのようにまち全体で目を光らせあうかを議論に入れてほしい。
	公共施設等の位置がわかりやすいエリアマップや歴史文化のパンフレット作成等も考えてほしい。
	トイレ、コインロッカー、おむつ替えの出来る場所等のマップがあれば県外客は助かるのではないか。
	エリアマネジメントは民間主導でないとうまくいかない。問題意識を共有したチームをどう後付するか、民間ベースにどう支援していくか。